

## 自治会員の防災意識向上事業

昭和園自治会

事業費 149,600 円

助成額 100,000 円

## ●当初の課題・事業目的

昭和園自治会では約30年前に阪神淡路大震災を経験したものの、近年自治会員の防災意識が希薄になってきており、高齢者、未成年者が4割近くを占めている人員構成から、災害発生時には自治会員同士の共助が必要となる。そのため「防災マニュアル」を作成し、まず自分・自宅の安全を確認した上で、自宅周囲の方々の安否確認を行なえるように、そのツールとして「災害時安否確認カード」を自治会内全戸配布する。



会長 安井 陽一

## ●事業概要

## 1. 防災マニュアルの作成・「災害時安否確認カード」の配布

防災士・坂倉久義を筆頭に8名の自治会員により3月に発足した防災チームにて、防災マニュアル「ひとりでも始められる防災活動情報」の作成を企画。

市・地域防災支援課の協力を得て完成した冊子1500部は、8月中旬に「災害時安否確認カード」を添付して自治会内全戸配布を完了。

## 2. 防災ウォークの実施

災害を想定し、11月11日(土)に、広田小学校体育館まで2kg程の荷物を背負って歩いてもらう。体育館内で防災グッズの紹介、阪神淡路大震災の写真の展示を行う。



## ●事業の成果・工夫した点

防災ウォークの参加者には、出発前に「安否確認カード」を玄関前に掛けてきてもらうようにした。

防災マニュアル「ひとりでも始められる防災活動情報」は、なるべく簡潔に要点を絞って誰でも見やすい冊子に仕上げた。

## ●苦劳した点・今後の課題

今回の配布物は自治会員だけでなく、自治会内住民の全戸配布のため、配布作業に若干手間取った。

今後は防災ウォークの参加者を増やす工夫が必須となる。

## ●代表者の感想

永年にわたり大所帯の昭和園自治会では防災活動が出来ていなかったが、今回初めて「防災ウォーク」という形で防災訓練が実現し、これをきっかけに自治会員の防災意識が向上することを確信しています。

(昭和園自治会長 安井 陽一)